

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|---|-------------------------------|------|-----|
| ■事業の担当課 | 保健福祉部健康増進課 | | ■担当係 | 健康係 |
| ■評価事業名称 | 健康診査事業(生活保護) | | | |
| ■事業開始年度 | 平成20年度 | | | |
| ■評価事業コード | 040200 - 088 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 03 健康づくりの推進と地域医療の充実 | | |
| | ■施策 | 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進 | | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | ■政策・業務区分 | 政策 | |
| ■法令の根拠区分 | 法令の努力義務(自治事務) | | | |
| ■法令等の名称 | 健康増進法 | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の目的と概要 | 平成20年度から始まった特定健診のうち、医療保険に加入していない人(生活保護受給者)を対象に市が特定検診と同じ項目で健診を行う。40歳以上の生活保護受給者に対し、特定健診と同じ内容で健康診査を行う。 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成29年度事業計画 | 平成29年度事業量実績 |
|--------|--------------|--------------------|------------|---|
| 01 | 健康診査事業(生活保護) | 生活保護を受けている40歳以上の市民 | 集団健診66日間実施 | 対象者582人 受診者57人 受診率9.8%。 集団健診67日間実施 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 720 | 670 | 444 | 538 | |
| 人件費 | 1,224 | 298 | 976 | 916 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 1,944 | 968 | 1,420 | 1,454 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 指標の説明 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 01 | 年間健診日数 | 66日 | 69日 | 66日 | 67日 | |
| 03 | 健診の受診率 | 7.2% | 12.9% | 7.6% | 9.8% | 受診者÷健診対象者×100 |
| 04 | コスト | 29.4千円 | 14.0千円 | 21.5千円 | 21.7千円 | フルコスト÷健診日数 |

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

| | | | | | | |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|------------|
| 05 | コスト | 41.3千円 | 11.9千円 | 31.5千円 | 25.5千円 | フルコスト÷受診者数 |
|----|-----|--------|--------|--------|--------|------------|

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

受診率は10%前後を維持。

問題点・課題等

健康意識の向上に向けた取組が課題。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

医療保険に加入していない生活保護世帯の健康管理を行うため、事業継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了